

研究・創薬支援

多発性硬化症モデル・重症筋無力症モデル

実験的自己免疫性脳脊髄炎モデル(EAE)

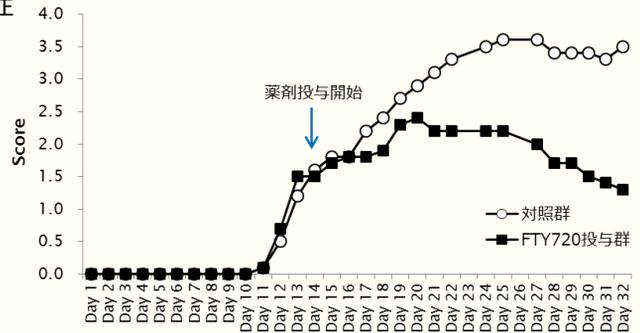
Experimental design

EAEは、中枢神経系の自己免疫性脱髄性疾患である多発性硬化症のモデルで、MOG₃₅₋₅₅を感作させることにより、惹起させる。

- 使用動物
C57BL/6J (10週齢, ♀, 日本チャールスリバー)
- 群構成
対照群 (Vehicle)
陽性対照群 (FTY720)
- 惹起
MOG₃₅₋₅₅/CFA : 0.1 mL/site × 2 sites, 皮下投与
Pertussis toxin : 120 ng/mouse, 腹腔内投与 × 2回
- 投与
Day 14~, 1日1回
10 mL/kg
強制経口投与
FTY720 : 1.0 mg/kg

○ モデル動物作製
10匹1セット およそ **20万円~**
(発症までの期間 : 2週間)

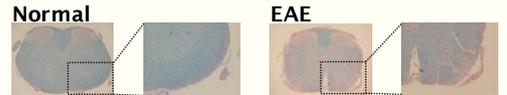
EAE Score



EAE Score;

- 0 異常なし
- 0.5 尾の硬直
- 1.0 尾の弱り
- 1.5 尾の弱りと無力化
- 2.0 一肢の麻痺
- 2.5 一肢の麻痺と他の一肢の弱り
- 3.0 両後肢の完全な麻痺
- 3.5 自力での立ち上がり不可
- 4.0 瀕死の状態
- 5.0 死亡

LFB染色



重症筋無力症モデル

Experimental design

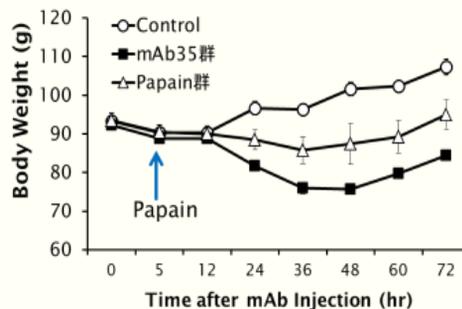
受動型EAMGモデル(重症筋無力症)では、ニコチン性アセチルコリン受容体 (AChR) に対する抗体 (mAb 35) 投与によって類似の神経筋疾患を発症させる。

- 使用動物
LEW/CrJf ラット
(4週齢, ♀, 日本チャールスリバー)
- 群構成
Control群
mAb35投与群
陽性対照群 (papain)
- 惹起及び薬剤投与
・mAb35 100 µg / rat, 腹腔内投与
・Papain 0.75 mg / rat, 腹腔内投与

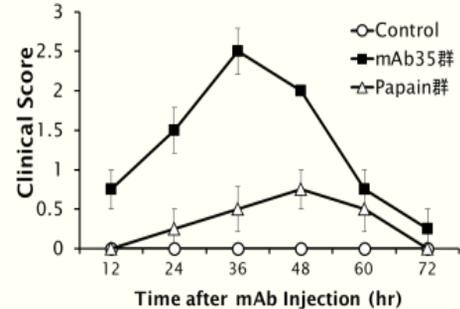
- 解析項目
体重測定
動作スコア (4段階) 12時間毎

○ モデル動物作製
価格応相談
(飼育期間 : 3日間)

Body Weight Change



Clinical Score Change



動作スコア

- 0 : 正常
- 1 : 握力の低下
- 2 : 後肢の不完全な麻痺
- 3 : 後肢の完全な麻痺及び立ち上がり不可

ユニテック株式会社

本社 〒277-0005 千葉県柏市柏367-2

お客様専用番号

0120-81-9788

FAX

04-7166-2039

E-mail

eigyo@uniqtech.co.jp

URL

http://www.uniqtech.co.jp